平成 23 年 12 月

太宰府市議会環境厚生常任委員会会議録

平成23年12月 9 日（金）

福岡県太宰府市議会

1 議 事 日 程

〔平成23年第4回（12月）定例会 環境厚生常任委員会〕

平成23年12月9日

午前10時00分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第69号 太宰府市女性センタールミナスの指定管理者の指定について
日程第2 議案第70号 太宰府市立老人福祉センターの指定管理者の指定について
日程第3 議案第74号 太宰府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について
日程第4 議案第75号 平成23年度太宰府市一般会計補正予算（第3号）について
日程第5 議案第76号 平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について
日程第6 議案第77号 平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について
日程第7 請願第2号 ワクチン接種緊急促進事業の継続に関する請願書
日程第8 意見書第10号 太陽光発電システム設置補助制度の創設を求める意見書
日程第9 意見書第11号 「子ども・子育て新システム」に関する意見書

2 出席委員は次のとおりである（6名）

委員長	小柳道枝	議員	副委員長	佐伯修	議員
委員	大田勝義	議員	委員	小島真由美	議員
〃	上	疆	〃	神武	綾

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（11名）

市民生活部長	古川芳文	健康福祉部長	井上和雄
市民課長	原野敏彦	環境課長	濱本泰裕
人権政策課長	森田良一	福祉課長	宮原仁
高齢者支援課長	平田良富	保健センター所長	中島俊二
国保年金課長	坂口進	子育て支援課長	小嶋楨二
人権政策課男女共同参画推進係長	前田米子		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会議務局長 田 中 利 雄
書 記 茂 田 和 紀

議事課長 櫻 井 三 郎

開 会 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（小柳道枝委員） 皆さん、おはようございます。

ただ今より環境厚生常任委員会を開会いたします。

日程につきましては、お手元に配布しているとおりです。

議案の審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第69号 太宰府市女性センタールミナスの指定管理者の指定について

○委員長（小柳道枝委員） 日程第1、議案第69号「太宰府市女性センタールミナスの指定管理者について」を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

人権政策課長。

（人権政策課男女共同参画推進係長前田米子 挙手）

○委員長（小柳道枝委員） 男女共同参画推進係長。

○人権政策課男女共同参画推進係長（前田米子） 私のほうから説明をさせていただきます。

議案書の23ページをお開き願います。

議案第69号「太宰府市女性センタールミナスの指定管理者について」ご説明を申し上げます。

太宰府市女性センタールミナスの指定管理者の指定につきましては、現在の指定管理期間が平成24年3月31日をもって満了となりますので、太宰府市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第5条の規定に基づき、公募によらない候補者として、財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団を引き続き平成24年度から2年間にわたり指定管理者の候補者に選定しましたので、地方自治法第244条の2第3項及び第6項の規定のよりご提案をしているところでございます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「なし」「ありません」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第69号について、可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

○委員長(小柳道枝委員) 全員挙手です。

したがって、議案第69号は可決すべきものと決定いたしました。

<可決 賛成5名 反対0名 午前10時02分>

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第70号 太宰府市立老人福祉センターの指定管理者の指定について

○委員長(小柳道枝委員) 日程第2、議案第70号「太宰府市立老人福祉センターの指定管理者の指定について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) 議案書の24ページでございます。

議案第70号「太宰府市立老人福祉センターの指定管理者の指定について」ご説明申し上げます。

太宰府市立老人福祉センターの指定管理者の指定につきましては、太宰府市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第5条の規定に基づきまして、公募によらない候補者として、社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会を引き続き平成24年度から2年間にわたり指定管理者の候補に選定しましたので、ご提案いたします。

その理由といたしましては、これまでも社会福祉協議会は管理運営面において十分な実績を有していること、及びセンターの管理運営につきましても誠実に履行されていることから、引き続き指定管理者に指定することが効果的と考えております。

以上でございます。

○委員長(小柳道枝委員) 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

上委員。

○委員(上 疆委員) 指定管理については問題ないんですが、老人福祉センターですが、利用者は今どれぐらいありますか。

○委員長(小柳道枝委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) 昨年度の利用状況を申し上げます。

開館日数が295日、月曜から土曜まで開いておりますので、日曜、祝日、年末年始は閉めておりまして295日。その間の利用者数が延べで2万850人、一日平均にしますと、単純に平均にしますと70名ぐらいの利用でございます。

○委員長(小柳道枝委員) 上委員。

○委員(上 疆委員) 関連ですけれども、福祉バスがなくなったんですよね。それから以降はどうで

しょうかね。

○委員長（小柳道枝委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 福祉バスの影響は現実わからないんですけども、年々利用者数は微増といますか、増えております。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第70号について、可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小柳道枝委員） 全員挙手です。

したがって、議案第70号は可決すべきものと決定いたしました。

<可決 賛成5名 反対0名 午前10時05分>

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第74号 太宰府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

○委員長（小柳道枝委員） 日程第3、議案第74号「太宰府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について」を議題とします。

執行部の説明を求めます。

福祉課長。

○福祉課長（宮原 仁） 議案書32ページをお開き願いたいと思います。

議案第74号「太宰府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について」ご説明を申し上げます。新旧対照表を配付させていただいておりますので、新旧対照表の6ページをお開き願いたいと思います。

今回の改正につきましては、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律が平成23年7月29日に公布、施行されました。これにつきましては、平成23年3月11日の東日本大震災の被害の甚大さ等にかんがみまして、この法律の改正が行われたものでございます。

改正の内容につきましては、見出しの「災害弔慰金を支給する遺族」の第4条第1項の第1号中、「維持していた遺族」の次に、括弧書きで「兄弟姉妹を除く。以下この項において同じ。」を加え、同項に第3号として「死亡者に係る配偶者、子、父母、孫又は祖父母のいずれもが存しない場合であって兄弟姉妹がいるときは、その兄弟姉妹（死亡した者の死亡当時その者と同居し、又は生計を同じくしていた者。）に対して、災害弔慰金を支給するものとする。」が新たに

加えられまして、遺族の範囲が拡大されたものでございます。

なお施行期日につきましては、議案書34ページにあります附則にも掲げておりますけども、平成23年3月11日以後に生じた災害により死亡した住民に係る災害弔慰金について遡及して適用するものでございます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第74号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小柳道枝委員） 全員挙手です。

したがって、議案第74号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

<原案可決 賛成5名 反対0名 午前10時09分>

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 議案第75号 平成23年度太宰府市一般会計補正予算（第3号）について

○委員長（小柳道枝委員） 日程第4、議案第75号「平成23年度太宰府市一般会計補正予算（第3号）について」の当委員会所管分を議題といたします。

お諮りします。

審査の都合上、事項別明細書の歳出から審査を行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定いたしました。

なお、歳出に説明に当たっては、関連する歳入など同時に説明したほうがわかりやすい項目がある場合については、あわせて説明をお願いいたします。

それでは補正予算書12、13ページをお開きください。

3款1項2目老人福祉費について、説明を求めます。

高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 補正予算書12、13ページ、3款1項2目老人福祉費、細目025高齢

化社会対策費361万4,000円について、ご説明させていただきます。

まず19節の地域支え合い体制づくり事業費補助金350万円につきましては、今年度の9月補正においても別の事業で500万円計上させていただいておりました地域支え合い体制づくり事業でございます。これは県が、厚生労働省からの交付金をもとに100%補助で実施するもので、自治体、住民組織、NPO、福祉サービス事業者との協働により、見守り活動支援等の人材育成、地域資源を活用したネットワークの整備、先進的パイロット的事業の立ち上げ支援など、日常的な支え合い活動の体制づくりの立ち上げに対するモデル的な助成を行うものでございます。なお、平成23年度のみ単年度補助事業でございます。

今回計上しております補助金350万円は、市内の高齢者などを対象に、買い物代行や生活支援事業の立ち上げを予定しております市内のNPO法人に対して、初期費用の補助を行うものでございます。このNPO法人は買い物代行や生活支援事業を平成24年4月からの実施を目指しております。

なお、この事業の財源につきましては、歳入の8ページから9ページ、上から4枠目の15款2項1目民生費県補助金、1節社会福祉費補助金に高齢者等地域支え合い体制づくり事業費補助金として、歳出と同額の350万円を計上しております。

続きまして、先ほどの12ページ、13ページに戻させていただきます。細目025高齢化社会対策費の23節低所得者特別対策事業費県補助金精算返還金11万4,000円につきましては、説明させていただきます。これは低所得者で特に生計が困難である人について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等がその社会的役割をかんがみて、利用者負担額を軽減することにより介護保険サービスの利用者の利用促進を図ることを当該措置の目的としているものでございます。平成23年度は利用対象者がおられませんでしたので、県に補助金を返還するものでございます。

以上、よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

質疑はございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 今ご説明の中に地域支え合いのサポーター体制についていくつかお話がありました。例えばどういった、平成16年あたりから認知症のサポーター体制とか国も実施しておりますが、本市としてのサポーターというところでの団体があったら教えてください。

○委員長（小柳道枝委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 本市としてのサポーターといいますか、サポートに関してましては、例えば今ありますNPOボランティアネットワークさんの力を借りてプラチナパソコン教室等を行っているものはございますが、ほかにNPO団体で今回のようなものはまだございません。

○委員長（小柳道枝委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 同じ内容ですが、地域支え合い体制づくり事業費の分で9月に500万円の

補助金と、今回350万円と850万円の補助金が出ていると思うんですけども、これは一カ所に交付されるということでしょうか。

○委員長（小柳道枝委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 9月において補正させていただいた500万円と今回の分は別の事業者でございます。前回の事業は、ある事業者がデイサービス事業を展開する中で、地域交流カフェとか、高齢者の生きがいカルチャークラブとか、地域支え合い料理教室をやるというものでございました。

ここでちょっと報告させていただきたいと思いますが、この9月に補正を上げました事業者については、施設のほうの本体の完成が年度末までちょっと微妙なところにきているということございまして、この補助金の対象から外れるかもしれません。ただ、事業者のほうにお聞きすると、立ち上げる事業自体は中止したわけではないということでございます。たとえ補助金がなくても実施するというところでございます。

それから今回の分は、先ほど申し上げましたように太宰府市の中で新たにNPOを立ち上げた団体でございます。太宰府ソーシャルクリエーションというNPO団体、市内の若者で構成しているものでございますけれども、そこが地域の買い物支援ということ、買い物の代行ですね。原案では1回500円とかいうことを今考えているみたいです。それから生活支援事業ということで、テレビの配線の設定とかパソコンの設定とか、さまざまなものについて2,000円ぐらいでやろうかなというふうに考えているようでございます。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 関連ですけれども、確かにもうビラは入りようもんね、この団体ね。立ち上げ予定ですとか言って回っておりますが、これは単年度補助ということでしたでしょ。2年目からはどうなるんですかね。大丈夫かな、ここ。

○委員長（小柳道枝委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） あくまでこの地域支え合い体制づくり補助事業の補助金は初期費用の補助ということになっておりますので、単年でございます。この団体のほうから補助金につきまして申請が出ておりますけれども、一応5カ年計画で、あとは収支バランスをとって自分たちでやっていけるといふような計画書が出ております。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） これとまたちょっと、全然関係ないんですが、もうご承知と思いますが、介護支援を支援するためということであるNPO団体が、これも立ち上げようとしているらしいんですよ、準備中と書いてあったけど、名刺には。名前はちょっと申しませんが。

そういうことで、高齢者宅を回ってけっこう長いことお話をして、高齢者が困っているとい

ったらおかしいんだけど、そういう分がかなりありまして、何か私が聞いた時には2,000世帯回っていますって、もう終わりましたっていうぐらいの数字があっさりしております。

ちょうど私の町内会のほうにも、今からこの町内会に入りますということでしたが、そういうNPOさんがしなくても民生委員でやっているの、うちの高齢者宅には入らないようにというふうなお話をしましたけれども、なかなか、このグループも若いちゃんね。30代前ぐらいの方なんですけど、けっこう元気な話をされることはされているんですよね。ただ、高齢者の側から見たら説得されたような形でね、うちの町内会の一人は介護保険証を見せたりしているんですよ。そういうことはやめたほうがいいよということで民生委員さんが指導はしているんですけど、そういうことは可能なんですかね。

○委員長（小柳道枝委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 今委員さんがおっしゃった団体については、うちのほうでも把握はしております。もともと、いろいろ情報を集めると、介護認定の申請を勧めているということでございます。うちのほうもいろんな方面と協調しながら情報を収集しているところです。ただ、ボランティアでやっているということでございますので、そこを・・・何ですかね、法律を違反するようなことになれば別なんですけれども。市役所の名をかたったりいろんな、だますようなことがあれば問題なんですけれども、現段階ではただお勧めしている、周知しているということで活動してありますので、今いろんな情報を仕入れているところではございますが、今まで目立った事後的なもの起きていないというのが現状でございます。

それと、この団体は今おっしゃいましたNPOではございません。あくまでNPOを立ち上げたいと、そのための準備をしているということで、NPOの名をかたっていたらちょっと問題がございます。そういうことがありましたら、県のほうに通報するようにしております。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 恐れ入りますが、委員長のほうからお願いします。

関連質疑になっておりますが、今審査の最中でございますので進めていきたいと思っておりますが、皆さんいかがでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） ありがとうございます。

佐伯委員。

○委員（佐伯 修委員） 23節の償還金、利子及び割引料、これの11万4,000円で、わずかですが、先ほどの説明では平成22年度は0件、低所得者特別対策事業費が県の補助で出ているということで、これは何ですか、もうずっと毎年あっているんですかね。ちょっとその辺・・・。

○委員長（小柳道枝委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） もう少しこの補助金について詳しく説明させていただきたいと思いますが、あくまでこれは社会福祉法人等による利用者負担の軽減ということで、具体的に申し上げますと特別養護老人ホームに入所してある方で低所得、なおかつ預金がほとんどないような方

ということになりますので、実際、対象者がですね、うちのほうは2名ぐらいなんですよ。ただ、その方たちが平成22年度に、高額療養とかいう分の制度がありまして、そちらで引っかかっておりまして、この補助金の利用まで至っていないということでございます。そもそも利用者の対象となる方が少ないということでございます。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 佐伯委員。

○委員（佐伯 修委員） はい、わかりました。

せっかく補助制度があるのに全く使わないで返すというのはどういうことかなということ、ちょっと不思議に思ったもので。対象者が2名ということで、これは毎年こういうのは、補助事業はあっているということで受け止めていいんですかね、少ないけど。これは毎年、毎年度事業がなされているということで受け止めとっていいですかね。

○委員長（小柳道枝委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） この制度については毎年ございます。対象者についてうちのほうで把握して、調査はいたしております。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 進んでよろしゅうございますか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 進みます。

次に3款1項3目障がい者対策費について、説明を求めます。

福祉課長。

○福祉課長（宮原 仁） 3目障がい者対策費、細目031障がい者福祉都市推進費、13節委託料、福祉タクシーでございますけれども、この福祉タクシーにつきましては、心身に重度の障がいのある方に対しまして、日常生活の利便性向上と社会参加を図るためタクシー利用料金の一部を助成するものでございます。

今回の委託料の140万円の補正でございますけれども、タクシーを利用する方が増えたということから、今回3月までの部分で不足が生じますので補正をお願いするものでございます。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

質疑はございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 福祉タクシーを委託している会社は何社ありますか。

○委員長（小柳道枝委員） 福祉課長。

○福祉課長（宮原 仁） 委託先は福岡市タクシー協会という協会に加入してある方でございますが、車の台数にしまして法人が4,743台、それから個人が1,753台、合計6,496台。そのほか南福岡自動車、それから岡崎観光、それから赤星、ほか3社ほどございます。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 進みます。

次のページ、3款1項4目障がい者自立支援費について、説明を求めます。

福祉課長。

○福祉課長（宮原 仁） 4目障がい者自立支援費、細目030介護・訓練等給付関係費、20節扶助費、介護・訓練等給付費3,000万円、及び身体障がい者・児補装具給付費224万円、合計で扶助費といたしまして3,224万円の補正をお願いするものでございます。

これにつきまして、介護・訓練等給付につきましては、福祉サービスを利用する方が増えたということ、それからまた補装具給付費におきましては、装具の交付や修理が増えたことにより3月までに不足が生じますので、補正をお願いするものでございます。

また、これにつきましては国の補助金、県の補助金がございます。歳入の9ページをお願いいたします。

9ページの一番上の枠と、それと三つ目の枠になりますけれども、14款国庫支出金の1目民生費国庫負担金、1節社会福祉費負担金、障がい者自立支援給付費負担金として国から2分の1の補助がございますので、その分の1,612万円を計上いたしております。

それから15款の県支出金、1項の県負担金、1目民生費県負担金、1節社会福祉費負担金、障がい者自立支援給付費負担金として県の補助が4分の1でございますので806万円を補正計上するものでございます。

この介護給付、訓練給付につきましては、日常生活に必要な支援を受けられるということでの介護給付、それから自立した生活に必要な知識や技術を身につけていただくということでの訓練給付の福祉サービスを受けられるということになっておるところでございます。

次に細目031自立支援医療費支給関係費、20節扶助費、自立支援医療（更正医療）給付費1,000万円の補正についてご説明いたします。

今回の補正につきましては、8月に生活保護受給者の心臓バイパスの手術がありまして、それに約600万円の給付が生じたことによるものと、今後3月までに不足が生じるということから補正をお願いするものでございます。

歳入につきましては、同じく9ページでございますけれども、お聞きいただきたいと思えます。

一番上の枠と、先ほど言いました三つ目の枠になりますけれども、14款国庫支出金の1目民生費国庫負担金、1節社会福祉費負担金、自立支援医療給付（更正医療）費負担金として国のほうから2分の1でございますので、その500万円、それから15款県支出金、1項の県負担金、1目民生費県負担金、1節社会福祉費負担金、自立支援医療給付（更正医療）費負担金として4分の1の250万円の補正をお願いするものでございます。

この更正医療制度につきましては、身体に障がいがある人が自立した日常生活、また社会生活を営むことができるように、その障がいを除いたり軽減したりするための医療費の一部でございます。それを助成するものでございます。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 身体障がい者・児補装具給付費ですけれども、以前に小学生の女の子が歩行器を申請したいということで窓口に行かれたんですけれども、ドイツ製のものが対象にならなかったということが以前あったようですが、今回、今回というか対象にならなくてお断りした件数とか、種類とかはおわかりになりますか。

○委員長（小柳道枝委員） 福祉課長。

○福祉課長（宮原 仁） 窓口で担当者のほうがそういったことで申請を受け付けた時に、やはりうちのほうの条例、規定の中で補装具のそういった、耐用年数とかいろんな部分があるんですけれども、その中で申請が外国製で対象にならなかったということでお断りしたことはあったと思いますけれども、その件数とか具体的な事例については、こちらのほうでは報告は受けていないという状況でございます。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 次に進みます。

3款1項8目後期高齢者医療費について、説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 3款1項8目後期高齢者医療費、細目060後期高齢者医療関係費、19節負担金、補助及び交付金、福岡県後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金の補正でございますが、後期高齢者医療の運営主体でございます福岡県後期高齢者医療広域連合から、平成22年度療養給付費の確定に伴い納付済負担金に対する不足額1,131万6,000円の請求がありましたので、同額の追加補正をお願いするものでございます。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） では、進みます。

次に3款2項1目児童福祉総務費について、説明を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（小嶋禎二） 3款2項1目児童福祉総務費の細目013その他の諸費、20節扶助

費、重度心身障がい児看護料の83万3,000円でございますが、今回の補正につきましては対象者の増によるものでございます。

看護料の支給対象者は重度の心身障がいのため、日常生活を営む上に著しく支障がある20歳以下の障がい児であり、その家族が障がい児の看護を行っている世帯に対しまして支給をいたしております。看護料の額につきましては、児童一人につき月額7,000円でございます。

今年度の当初予算におきまして一人一カ月7,000円の延べ約95人分の12カ月分、797万3,000円を計上いたしておりましたが、対象者が10人増の延べ105人となり、総支出額が880万6,000円となる見込みのため、その差額の88万3,000円を追加計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 追加補正されているということは認定を途中でされていると思うんですけども、10人ですね、これはいつの時点でされているのでしょうか。

○委員長（小柳道枝委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（小嶋禎二） 認定されてその都度、月ごとにしておりますので、それが年間で延べで105人の見込みになるということです。

○委員長（小柳道枝委員） よろしいでしょうか。

佐伯委員。

○委員（佐伯 修委員） 10人増えたということで補正されていますけれども、この10人の方々もともと太宰府市におられた方なのか、転入して来られた方なのか、その状況はどのようになっていますか。

○委員長（小柳道枝委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（小嶋禎二） 11月期に認定した4人につきましては新規、太宰府市内に居住してある方でございます。一部転入の方もおられます。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） では、進みます。

次に3款2項3目保育所費について、説明を求めます。

子育て支援課長。

○子育て支援課長（小嶋禎二） 3目保育所費の細目010市立保育所管理運営費の、11節需用費、賄材料費30万円でございますが、今回の補正につきましては五条保育所の入所児童数の増によるものでございます。

今年度当初予算におきまして肉、魚、米、牛乳などの給食の材料費としまして延べ95人分の

12カ月分で748万4,000円を計上いたしておりましたが、入所児童数が10月1日現在112人となり、今年度総支出額が778万4,000円となる見込みのため、その差額の30万円を追加計上させていただきます。

次に細目011私立保育所関係費の、23節償還金、利子及び割引料の福岡県保育対策等促進事業費補助金精算返還金8万5,000円でございますが、今回の補正につきましては平成22年度分の交付額2,761万7,000円と、実績交付決定額2,753万2,000円との差額8万5,000円を返還金として追加補正させていただくものでございます。

以上で説明を終わります。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） じゃあ、進みます。

次に3款2項5目乳幼児医療対策費について、説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 3款2項5目乳幼児医療対策費、細目011医療費、20節扶助費、乳幼児医療費の補正でございますが、平成23年度の予算は平成21年度決算との比較や、平成22年度の執行状況等を参考に予算編成を行っております。

対象者一人当たりの給付費などが予算編成時の試算より増加をしております。現予算に不足が見込まれますので、1,500万円の追加補正をお願いするものでございます。

なお、乳幼児医療費の補正財源につきましては、補正予算書の8ページ、9ページをお開き願います。

乳幼児医療費は、福岡県公費医療費支給制度に基づき2分の1の県費補助を実施しておりますので、15款2項1目2節児童福祉費補助金、乳幼児医療費補助金で、歳出補正額の2分の1の750万円を計上しております。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 以上で歳入、歳出についての説明、質疑を終わります。

それでは第3表、債務負担行為補正の審査に入ります。4ページをお開きください。

老人福祉センター指定管理料及び女性センタールミナス指定管理料について、説明を求めます。

高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 老人福祉センター指定管理料につきましては、平成24年度、来年から平成25年度までの2年間で、限度額として2,160万円を計上しております。

先ほど出ましたが、こちらについても指定管理者の指定として、随意選定により社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会に引き続きお願いしたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（小柳道枝委員） 人権政策課長。

（人権政策課男女共同参画推進係長前田米子 挙手）

○委員長（小柳道枝委員） 男女共同参画推進係長。

○人権政策課男女共同参画推進係長（前田米子） 女性センタールミナス指定管理料につきましては、先ほど議案第69号で説明いたしました平成24年度から平成25年度の2年間の指定管理料3,894万4,000円を計上させていただいております。

以上です。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 以上で第3表、債務負担行為補正の説明、質疑を終わります。

それでは再度、当委員会所管分全般について、質疑はございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 済みません、一点戻りたいんですけれども、3款2項の4目、15ページ、学童保育所の管理運営費で・・・

○委員長（小柳道枝委員） 済みません、学童保育所は所管外でございますので、申し訳ありません。

○委員長（小柳道枝委員） 質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで説明、質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第75号の当委員会所管分について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（全員挙手）

○委員長（小柳道枝委員） 全員挙手です。

したがって、議案第75号の当委員会所管分は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

<原案可決 賛成5名 反対0名 午前10時43分>

日程第5 議案第76号 平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について

○委員長（小柳道枝委員） 日程第5、議案第76号「平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について」を議題とします。

補正予算書20ページから31ページでございます。

執行部の説明を求めます。

国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 補正予算書の21ページをお開き願いたいと思います。

今回の補正につきましては、2億3,796万7,000円を追加し、歳入歳出予算それぞれの総額を74億8,324万9,000円とさせていただくものでございます。

事項別明細書で説明をさせていただきます。28ページをお開き願います。

まず歳出でございます。

2款1項1目一般被保険者療養給付費の補正ですが、執行状況等を参考に今後の支出見込みを算定しましたところ、上半期の支払額が前年同期より約2.7%伸びておりまして、今後の支払見込額に対し現予算では不足が見込まれますので、不足額1億4,271万4,000円追加補正をお願いするものでございます。

同じく2目退職被保険者等療養給付費、3目一般被保険者療養費、4目退職被保険者等療養費の補正につきましても、同様に前年同期よりも高い伸びを示しておりまして、現予算では不足が見込まれますので2目退職被保険者等療養給付費は1,069万9,000円、3目一般被保険者療養費は925万円、4目退職被保険者等療養給付費は70万5,000円の追加補正をお願いするものでございます。

保険給付費の増加に伴い、5目審査支払手数料の件数も前年度上半期より5.2%増加をしておりますので、現予算に対しての不足額15万1,000円追加補正を行うものでございます。

次に2項1目の一般被保険者高額療養費は、自己負担限度額を超えた医療費について助成をしております。医療技術の進歩に伴い支出も増加をしております。予算編成時は前年度予算より約6%増で予算を組んでおりましたが、見込みよりさらに伸びておりまして、伸びによる不足額1,017万1,000円の補正をお願いするものでございます。

5項1目葬祭費の補正につきましては、平成20年度の後期高齢者医療制度の創設に伴い件数は年々減少しておりましたので、平成23年度の予算編成時は月平均6件の年間72件を見込み予算計上しておりましたけれども、今年度上半期の件数は50件、月平均にしますと8.3件で推移しております。月平均8件のペースで年間96件と見込み、当初予算から差し引き24件の不足額96万円の補正をお願いするものでございます。

次に3款1項1目後期高齢者支援金の補正ですが、75歳以上の後期高齢者の医療給付費は、公費5割、現役世代4割、後期高齢者の保険料1割の負担で賄うことが法で規定されておりまして、国保特別会計から現役世代の負担金を後期高齢者支援金として拠出しております。

後期高齢者支援金は通知に基づき支出をしておりますが、現予算と通知額との差異850万8,000円の追加補正をお願いするものでございます。

次の4款1項1目前期高齢者納付金は、65歳から75歳未満の前期高齢者は従来医療保険に加入しつつ、医療費負担の隔たりを調整するために健康保険組合、共済組合などの被用者保険と国保とで財政調整を行う前期高齢者医療制度が平成20年度に創設されておりました通知に基づき支出しておりますが、現予算に44万4,000円不足を生じますことから補正をお願いするものでございます。

7款1項1目高額医療費共同事業拠出金は、県下の市町村国保保険者の高額医療費に関する財政負担の平準化を図るため、福岡県国保連合会において歳入の共同事業交付金とで財政調整を行っておりますが、こちらにも通知がありましたので現予算との差異36万6,000円の追加補正をお願いするものでございます。

11款1項1目23節償還金、利子および割引料、一般被保険者保険税還付金の補正につきましては、前年度の上半期と比較して件数、金額ともに大幅な増加をしております、一月平均支出額をもとに試算した決算見込額と現予算との差額423万2,000円の補正をお願いするものでございます。

同じく2目23節償還金、利子および割引料の補正は、過年度交付の精算額が確定したことによる国、県への返還金でございます、療養給付費等国庫負担金精算返還金4,783万9,000円、高齢者医療制度円滑運営事業費補助金精算返還金4万1,000円、特定健康診査等国庫負担金精算返還金128万3,000円、特定健康診査等県負担金精算返還金60万4,000円それぞれ増額を行い、合計4,976万7,000円の追加補正をお願いするものでございます。

続きまして歳入の説明をさせていただきます。26ページをお開き願います。

2款1項1目療養給付費等負担金は、保険給付費に対する国の負担金ですが、給付費の増加に伴い183万8,000円の追加補正を行うものでございます。

同じく2目高額医療費共同事業負担金は、国保の保険者間で高額医療費の財政調整を行う事業に対する国の負担金ですが、交付決定通知がありましたので9万1,000円の追加補正を行うものでございます。

同じく3目特定健康診査等負担金につきましても、国庫負担分62万8,000円の追加補正でございます。

2款2項1目1節普通調整交付金の補正につきましては、療養給付費等負担金と同様に、保険給付費の支出増加に伴い1,134万9,000円の追加補正を行うものでございます。

3款1項1目療養給付費交付金、退職者医療費交付金は、企業を退職すると国保に加入され、医療費は国保が負担をすることになりますので、被用者の期間が一定期間ある65歳未満の退職者が国保に加入した場合、健康保険組合、協会健保、共済組合などの被用者保険からの拠出金を受けける制度が、平成26年度末までとなりますが経過措置が講じられております。団塊の世代の大量退職を反映し、予算編成時の見込みより多い交付決定通知がありましたので、現予算との差額2

億2,242万8,000円追加補正を行うものでございます。

4款1項1目前期高齢者交付金は、歳出の4款前期高齢者納付金の補正のところで説明をしましたように、65歳から後期高齢者医療制度に移行するまでの75歳未満の前期高齢者は独立した医療制度とはせず、従来の医療保険に加入しつつ医療費負担の隔たりを調整するために、被用者保険と国保で財政調整を行う前期高齢者医療制度が平成20年度に創設されておりました、こちらも通知に基づき交付を受けておりますが、現予算より163万3,000円の差額がありましたので追加補正をお願いするものでございます。

以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（小柳道枝委員） 説明は終わりました。

ここで質疑に入る前に休憩を取りたいと思います。

11時10分まで休憩します。

休憩 午前10時54分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時08分

○委員長（小柳道枝委員） 皆さんお揃いですので、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

それでは、説明が終わりましたので質疑を行います。

委員におかれましては、ページ数と款、項、目を明らかにして発言をお願いいたします。

質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） 31ページ、11款の諸支出金、1目保険税還付金のことについてですけれども、これ、説明を聞いたんだけどちょっとわからなかったんだけど、中身をもう一回言っていただけませんか。過誤納金還付金。

○委員長（小柳道枝委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 保険税の還付金につきましては、実際に社会保険に加入されてあって国保にも加入されていて、その申請によって以前払ってありました国民健康保険税の払い戻し、その件数が増えておりました今回補正をお願いするということでございます。

○委員長（小柳道枝委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） ちょっと・・・理解が遅いので申し訳ない。社会保険と国保にだぶって入っていた方が、国保の分が安くなった・・・還付やけんね・・・。

○委員長（小柳道枝委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（坂口 進） 国保に加入してありまして、その後に職に就かれまして社会保険も会社のほうで払ってある、国保のほうに喪失届を出されていない方がけっこういらっしゃるんですね。それで、そういった方に対して通知等を差し上げまして、それで以前払っていた分につきまして還付してくださいというものの件数がございますので、そういったものについては遡って還

付を行っております。

(上疆委員「わかりました」と呼ぶ)

○委員長(小柳道枝委員) ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小柳道枝委員) これで質疑を終わります。

討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小柳道枝委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第76号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

○委員長(小柳道枝委員) 全員挙手です。

したがって、議案第76号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

<原案可決 賛成5名 反対0名 午前11時11分>

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第77号 平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について

○委員長(小柳道枝委員) 日程第6、議案第77号「平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について」を議題といたします。

補正予算書32ページから39ページでございます。

執行部の説明を求めます。

高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(平田良富) 平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計、補正第2号、保険事業勘定について説明させていただきます。

まず補正予算書38、39ページの歳出から説明させていただきます。

1款1項1目一般管理費、細目002庶務関係費、23節償還金、利子及び割引料1,474万8,000円について説明させていただきます。

これは平成22年度介護保険事業の国と県の負担金、交付金の確定に伴いまして、精算返還金を計上しております。

財源につきましては、上段の歳入、6款2項1目の基金繰入金と、7款1項1目の前年度繰越金で対応しております。

以上、よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長(小柳道枝委員) 説明は終わりました。

質疑を行います。

質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小柳道枝委員) これで質疑を終わります。

討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小柳道枝委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第77号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

○委員長(小柳道枝委員) 全員挙手です。

したがって、議案第77号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

<原案可決 賛成5名 反対0名 午前11時13分>

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 請願第2号 ワクチン接種緊急促進事業の継続に関する請願書

○委員長(小柳道枝委員) 日程第7、請願第2号「ワクチン接種緊急促進事業の継続に関する請願書」を議題とします。

本請願についてご意見はありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 今回の請願の背景といたしましては、子宮頸がんの死亡率が日本女性が本当に今世界的にも多くなってきておりまして、国内では年間1万5,000人が発症し、そのうち2,500人が死亡するという背景がございます、これがまた若年化をしているというようなことでございます。

今回、医師会の方々とお話をした中であったのは、若干副作用の問題があったりはいたしましたけれども、すみやかにそういったものを回避しながら、それ以上に予防できるワクチンとしてぜひ、というようなお話もいただきました。

私がお話を聞きながら思ったことは、やはり予防できるワクチンとしてはなかなか今のところ世界的に遅れているのが日本の現状でございますので、ぜひ進めていきたいというようなお話に同感し、お聞きしました。

○委員長(小柳道枝委員) ただ今、小島委員のほうからご意見がございました。

ほかにご意見はございませんか。

佐伯委員。

○委員(佐伯 修委員) 私は反対意見ですけれども、要するに副作用があるということで、これは必要ないと思います。

○委員長(小柳道枝委員) 大田委員。

○委員(大田勝義委員) 私も話を聞かせていただいたんですよ。副作用というのはですね、痛みを

伴うと、強い痛みがあるからというふうなことのようでした。私はそのように理解しております。

○委員長（小柳道枝委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 副作用というものはワクチンには、子宮頸がん予防ワクチンに限らずございまして、ないというようなワクチンはありません。そして、この子宮頸がん予防ワクチンに関する副作用として一番言われているのが痛み、痛みに伴い具合が悪くなるというような神経が敏感なお子さんもいらっしゃいますのでそういったことだと思いますが、これはワクチン自体を冷たくしたまま、冷蔵庫から出してすぐ打つのと、常温に戻して打つのと、医師のちょっとした工夫で痛みを軽減できるというようなこともございますので、そういったこともまたこれからかんがみていくというようなお話もありましたので、これはクリアできる問題じゃないかと思っております。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにございますか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 私も医師会のほうからお話を聞かせていただいたんですけども、その中で費用対効果の分析をされておりまして、筑紫地区四市一町の小学校6年生の女の子約2,300人に対して調査をされております。実際にワクチンを3回接種するんですけども、3回の接種費用が一人当たり5万400円で2,292人、計算いたしますと1億1,551万6,800円と出ております。

それに対しまして、医療費と・・・（聴取不能）・・・の抑制額が1億5,565万円と出ておまして、これによって費用の削減効果が4,013万3,200円と出ております。

こういうことからみても、この子宮頸がんワクチンは継続で採用していただきたいということで、私は賛成したいと思っております。

以上です。

○委員長（小柳道枝委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 医療費の負担軽減につながるということはもう一つ言えることがございまして、これはワクチン接種した後の、検診はもちろん必要なんですけれども、予防できる期間というか、そういった効果が継続する期間が大体10年、15年というふうに言われておりますので、こういった中でのがんの治療費等がかんがみますと、やはり医療費の費用対効果も含めて考えることができるんじゃないかと思っております。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 意見も出つくしたようでございますので、これから討論、採決を行います。

討論を行います。

討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

請願第2号について、採択することに賛成の方の挙手を求めます。

（多数挙手）

○委員長（小柳道枝委員） 多数挙手です。

したがって、請願第2号は採択すべきものと決定いたしました。

〈採択 賛成4名 反対1名 午前11時20分〉

○委員長（小柳道枝委員） ただ今採択した請願第2号については、意見書の提出を要望するものであり、意見書案も添付されておりますので、これから意見書案の協議に入ります。

内容についてご意見はありませんか。

（発言する者なし）

○委員長（小柳道枝委員） ちょっとお諮りしたいんですが、見出しのほうに「ワクチン接種緊急促進事業継続の意見書」とあるようでございますが、委員長の私としては「ワクチン接種緊急促進事業継続を求める意見書」というふうにしてはどうかと考えておりますが、皆様のご意見をお聞かせください。

上委員。

○委員（上 疆委員） 表題が継続の・・・求める・・・継続を求める意見書って言われてました。

あまり意味がないような気がするけどな。

○委員長（小柳道枝委員） 意味がないような気がする・・・それはご意見ですので、皆様のご意見がどうか・・・。

○委員（上 疆委員） このままで私はいいと思う。継続の意見書で。

○委員長（小柳道枝委員） それではお諮りします。

意見書については、原案のとおりとすることにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定いたしました。

それではこの意見書を本会議最終日に上程するに当たって、提出者と賛成者を決定したいと思います。

これについては、委員会提出議案として委員長が提出者となる場合と、請願に賛成された委員で提出者、賛成者になる場合と二通りあります。

いかがいたしましょうか。

（「委員長で」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） それではお諮りいたします。

提出者を私として、委員会提出議案として本会議最終日に上程することにご異議ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 意見書第10号 太陽光発電システム設置補助制度の創設を求める意見書

○委員長（小柳道枝委員） 日程第8、意見書第10号「太陽光発電システム設置補助制度の創設を求める意見書」を議題とします。

賛成者が委員として出席しておられますので、内容についての補足説明がありましたらお願いいたします。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 現在、国の設置補助は1kWの発電システム設置で4万8,000円で行われておりますが、福岡県下でも市単位で福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、大川市、豊前市、小郡市、福津市などで市独自の補助制度がありますが、自治体間の財政格差もあり導入されていないことを解消し、自然エネルギー普及の観点からも県が率先して補助制度を創設し、県全体で取り組んでいくべきだと考えております。

委員各位のご協力をお願いしたいと思っております。

よろしく願いいたします。

○委員長（小柳道枝委員） それでは、ただ今の説明に対し質疑はございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 現在、本市におきまして、こういった太陽光発電システムに関する問い合わせはありますか。ちょっと所管課にお聞きしたいと思います。

○委員長（小柳道枝委員） 環境課長。

○環境課長（濱本泰裕） 問い合わせはあっておりますけれども、現在国の補助金で対応しているという回答をさせていただいております。

○委員長（小柳道枝委員） ほかに質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで質疑を終わります。

それでは意見書第10号について協議を行います。

ご意見はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで協議を終わります。

討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

意見書第10号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(全員挙手)

○委員長(小柳道枝委員) 全員挙手です。

したがって、意見書第10号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

<原案可決 賛成5名 反対0名 午前11時26分>

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 意見書第11号 「子ども・子育て新システム」に関する意見書

○委員長(小柳道枝委員) 日程第9、意見書第11号「子ども・子育て新システム」に関する意見書」を議題とします。

提出者が委員として出席しておられますので、内容について補足説明がありましたらお願いいたします。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 本会議場でもお話しましたが、7月29日に中間とりまとめが行われましたが、内容が何も決まっておらず、その中でも年内に最終とりまとめを行い、来年の通常国会に提出するという予定で進められております。幼稚園と保育園の一体化も含まれており、このような体制がどんなふうに運営されていくかということも決まっておりませんので、この子ども・子育て新システムに関して意見書を提出するものです。

よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長(小柳道枝委員) ただ今の説明に対し、質疑はございませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) この新システムは窓口が各自治体、市のほうになるとお聞きしているんですが、この件に関して国から市への説明とかは今の段階で何かあっていますか。

○委員長(小柳道枝委員) 子育て支援課長。

○子育て支援課長(小嶋禎二) 国のほうで協議の途中でございますので、この分について直接うちのほうに文書で通知はあっておりません。

厚生労働省のホームページで、7月29日に出了した中間とりまとめについては見ておるところでございます。

以上でございます。

○委員長(小柳道枝委員) 佐伯委員。

○委員(佐伯 修委員) 今説明がありましたが、これは今国のほうで審議されているわけですので、とりあえず国の動向を見てからということで、わざわざ意見書を出す必要はないと私は思います。

○委員長(小柳道枝委員) ほかにございませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 少子化対策会議において今検討されているんですけれども、流れとしては来年の通常国会にということなんですけれども、この短い期間の中で厚生労働省と文部科学省と

一緒になって話を進めていくことに無理があるというところで、性急すぎるという意見書を提出したいと考えております。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 文章の中の保育現場に市場原理が持ち込まれるという点についてちょっと説明をいただきたいのと、福祉としての保育制度が維持されないというところについて、もうちょっと、わかる範囲でご説明いただけたらと思うんですが。

○委員長（小柳道枝委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 市場原理が持ち込まれるということに関しては、今社会福祉法人、それから幼稚園に関しては学校法人となっておりますが、規制緩和により民間の一般の株式会社の参入が考えられますので、参入することによって保育の質が下がるという点で懸念しております。

福祉としての保育制度の根幹が大きく揺らぐ、という点ですけれども、この点も先ほどの民間が入ってくることによって、介護保険と一緒にすけれども、保育園に入れない子どもたちが出てくるのが懸念されております。

以上です。

○委員長（小柳道枝委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで質疑を終わります。

それでは意見書第11号について協議を行います。

ご意見はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで協議を終わります。

討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（小柳道枝委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

意見書第11号について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

（多数挙手）

○委員長（小柳道枝委員） 多数挙手です。

したがって、意見書第11号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

<原案可決 賛成3名 反対2名 午前11時32分>

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（小柳道枝委員） 以上で当委員会に審査付託された案件の審査は、すべて終了いたしました。

ここでお諮りいたします。

本会議における委員会の審査内容と結果の報告、及び閉会中の委員派遣承認要求書の提出につきましては委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小柳道枝委員) 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定いたしました。

以上で環境厚生常任委員会を閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(小柳道枝委員) 異議なしと認めます。

これをもちまして環境厚生常任委員会を閉会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

閉 会 午前11時33分

太宰府市議会委員会条例第27条により、上記のとおり環境厚生常任委員会の会議次第を書記に記録させ、その内容が正確であることを証するためここに署名する。

平成 24 年 2 月 20 日

環境厚生常任委員会委員長 小 柳 道 枝